

特別企画

J-CIPプロジェクト活動報告

令和元年～令和3年度厚生労働省がん政策研究事業「パートナーシップでつくるがん統計情報の国民への還元方法に関する研究」班
 (代表:伊藤ゆり先生、分担者:猿木信裕先生、片野田耕太先生、伊藤秀美先生、松田智大先生、片山佳代子)



片山 佳代子 JACR監事

神奈川県立がんセンター臨床研究所

J-CIP (Japan Cancer Information Partnership) プロジェクトは、がん情報、特にがん登録由来のデータを中心としたがん情報を正しくわかりやすく発信することを目的に活動しています。そして患者、家族、臨床の現場、がん疫学者そしてコミュニケーションの専門家とパートナーシップを構築し、研究や情報発信を行うことが特徴となっています。患者さんたちが実際に参画し、同じ目線で共にごがん情報発信する試みは国内初の活動となります。

これまでの活動を通して①専門家発信のがん情報はまだまだわかりにくいという点、②真に患者・家族が求める情報は、がん登録情報だけでは不十分で、自分により近い状況の詳細な臨床情報や地域密着した情報を必要としている点が明らかになりました。そのため本プロジェクトを遂行するために、J-CIP委員が中心となり、伊藤ゆり先生を代表とする公的研究費による研究班を発足し目標達成のために活動しているところです。

がん情報を発信する際、患者・家族のニーズを把握することはとても重要です。今回ご紹介する論文はがんサバイバーのアンメットニーズ※を探るため、がん電話相談に寄せられたナラティブな相談内容を質的・量的によるmixed method (混合分析法)により明らかにしたものです。神奈川がん臨床研究・情報機構で実施していたがん電話相談に寄せられた約14000件におよぶ事例から初回の相談10,896件を解析対象とし、相談

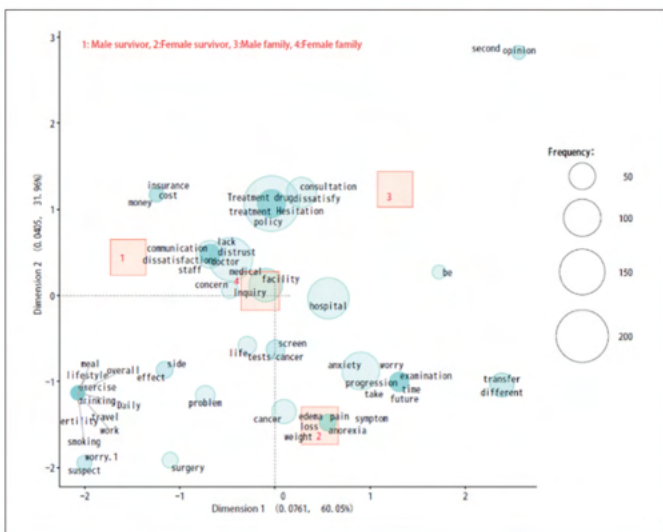


図1 相談者別レスポンス分析

論文タイトル: Qualitative analysis of cancer telephone consultations: Differences in the counseling needs of Japanese men and women.
 掲載雑誌: article accepted for publication: Patient Education and Counseling 103(2020)2555-2564.
 著者: Katayama K, Ishikawa D, Miyagi Y, Takemiya S, Okamoto N, Ogawa A.
 DOI: 10.1016/j.pec.2020.05.012

内容を大きく19カテゴリーに分類することができました。ここから見えてくる男性と女性の相談行動の差異は、これまで相談支援に携わっていた方々が経験的に感じていたことが科学的に裏付けされる結果となっています。全相談の約2割はがんの確定診断のない方からの相談であったこともわかりました。もちろん、がんの確定診断を待つ不安な状況から相談行動に出るといった心理はわかります。しかし、中には、「がん検診で陽性になったが、がんか?」、「咳が止まらない、肺がんかもしれない」、「がん患者とお風呂に一緒にはいっても大丈夫か?」など、がん検診の意義や、がんの正しい知識が浸透していない現状も示唆されました。男性と異なり女性が多岐に渡るあらゆる事柄について相談をしている状況から患者会やピアサポートを紹介することは理にかなっていることがわかり、現場では、性差を加味した相談支援の在り方を検討する必要性を示唆しています。

これらの成果をはじめ、サバイバー生存率のインフォグラフィックスの動画コンテンツ、各種セミナーの動画や各県の担当者が地域間の年齢調整罹患率や死亡率の差を視覚的にとらえることができるFunnel plotを実行するツールを開発し、J-CIPサイトを充実させているところです。J-CIP Localにおいても群馬、神奈川県を参考に各県版の情報発信を支援していきたいと考えています。



図2 J-CIP神奈川

こうした地域の情報は、今年度から本格的にスタートした学校でのがん教育の資料としても活用が可能です。がん教育の目的には「地域の実情にあったがん教育を」することになっています。教員の方々からよくある質問で、「既存の資料ではなくて自分たちでデータを活用して授業用資料を作りたいがどこでその情報は手に入るのですか?」というものがあります。このような要望にJ-CIPの情報コンテンツが役立つよう群馬県、神奈川県に続くよう各県の情報発信を支援していきたいと考えています。
 ※アンメットニーズとは、まだ満たされていない患者らの潜在的な要求・需要のこと。

